

第一編 初期歌舞伎の型**第一章 琉球舞踊と綾子舞**

—芸態比較対照研究による古歌舞伎踊の系譜考、
琉球舞踊と小歌踊系民俗芸能の民族芸術学的考察—

はじめに—背景および目的—

一 方法

二 結果および考察

三 今後の展望および課題

第二章 元禄見得の成立

—近世初期「舞踊図」の成立と歌舞伎の系譜—

はじめに

一 従来の研究と考察の前提—芸態比較研究による「初期歌舞
伎舞踊における型の存在」の発見—

二 初期歌舞伎舞踊と近世初期風俗画一人立舞踊図

—描かれた元禄見得の系譜—

三 書誌にみえる「見へ」の記述

—『役者名物 袖日記』『劇場訓蒙図彙』『客者評判記』—

四 見得の成立と日本人の美意識—型・形に美を見出す感性—

資料 犀川神社太々神楽（長野県長野市安茂里）

コロナ禍の現状報告とオーラルヒストリー調査（二〇二一年度
実施）：小西獅子方

第三章 舞踊図屏風と綾子舞

—初期歌舞伎の「型」の成立と舞踊図誕生—

はじめに—研究概要—

一 描かれた舞踊—先行研究—

二 歌舞伎図巻・舞妓図・舞踊図屏風と綾子舞

—絵画と舞踊—

三 初期歌舞伎をめぐる意匠—更紗・鳳凰、遊楽・舞踊—

四 異国情緒と文化移動—初期歌舞伎のダイナミズム—

第二編 初期歌舞伎の表象と絵画**第四章 大津絵「藤娘」と「花車」**

—若衆歌舞伎「業平踊」と初期歌舞伎の表象—

はじめに

一 藤娘と風流踊における花の折り枝

二 藤娘—描かれた小袖意匠に見るイメージの連鎖／業平踊と若衆—

三 大津絵「藤娘」の系譜—「花売り娘」「花車引き娘」—

四 踊歌と舞踊の所作—若衆歌舞伎の「型」と踊歌—

おわりに

第五章 柳橋水車図屏風と三葉葵紋、遊女柳橋扇面

流図屏風考—初期歌舞伎の表象と絵画 I—

はじめに

一 柳橋水車図屏風考—歌舞伎図巻と初期歌舞伎踊歌—

二 歌舞伎遊里図屏風と三葉葵紋—初期歌舞伎と徳川家—

三 遊女柳橋扇面流図屏風考

第六章 誰が袖図と近世初期風俗画

—初期歌舞伎の表象と絵画 II—

はじめに

一 誰が袖図屏風の成立と誰が袖美人図屏風

—時代の華と踊衣裳—

二 根津美術館蔵「誰が袖図屏風」考

—誰が袖図屏風の終焉—

三 機織図屏風と桜下弾弦図屏風考

—江戸初期三味線歌と踊歌—

第七章 枝垂れ桜と藤の花

—初期歌舞伎と琉球宮廷舞踊—

はじめに

一 若衆歌舞伎「大小の舞」の系譜—「阿万の風流大踊小踊」(淡
路)・「小河内の鹿島踊」(小河内)・「綾子舞」(女谷)・琉球宮
廷舞踊「若衆特牛節」「かぎやで風」—

二 型の伝承—初期歌舞伎と元禄歌舞伎—

三 糸桜（枝垂れ桜）と短冊—歌舞伎舞踊と琉球—

四 丸に二引紋・芭蕉—大津絵・初期歌舞伎・琉球宮廷舞踊—

五 柳橋水車図・藤の花—冊封使御礼式『踊番組』—

第三編 琉球宮廷舞踊**第八章 首里城・琉球の民族芸術**

はじめに

一 王国の記憶 琉球紅型

二 首里城公園「江戸上り展」—琉球王国から江戸幕府へ。
二一六年間一八回に渡る壮大な文化移動の記憶—

**第九章 琉球王国時代から現代における沖縄(琉球)の
芸能祭祀と紅型—紅型の衣裳と幕—**

はじめに

一 踊衣裳調査について

二 踊衣裳—第二次世界大戦後 舞踊家所蔵衣裳—

三 幕

ま と め

第十章 琉球紅型踊衣裳の研究

—オーラル・ヒストリーにみる近現代沖縄芸能家の思
いと表象—

はじめに—琉球芸能と紅型踊衣裳—

一 戦後沖縄芸能家・紅型師と紅型踊衣裳

二 舞踊の生成過程と衣裳

おわりに—琉球王国への意識と県外の視線—

資料 西江喜春（国指定重要無形文化財「組踊音楽歌三線」保持
者）の芸談

附一 沖縄～工芸王国・芸能の島に花開いた染め織りの美～

附二 〈芸態（型）比較研究写真：国指定重要無形民俗文化財
綾子舞と琉球宮廷舞踊 若衆特牛節・上り口説〉

初 出 一 覧

図版典拠・映像一覧

あ と が き